



熊商同窓会会報

伝統と未来への集い

発行人 住 永 金 司
編集人 緒 方 進 一
発行 熊商同窓会
〒862-0954
熊本市中央区神水1丁目1番2号
(熊本商業高校内)
TEL・FAX (096)381-6979
印刷 高田商会印刷部
熊本市中央区本山4丁目7-78



日頃から本校教育活動へのご理解とご支援に感謝申し上げます。この度は120周年記念事業として、スクールバスをご寄贈いただくことになり、重ねて心からお礼申し上げます。本校の教育活動、部活動などにありがたく活用させていただきます。昨年はすべての同窓会に参加

し多くの同窓生の皆様にごあいさつできて大変嬉しく思うと同時に、母校への熱い思いに接して、責任の重さを改めて感じました。さて、本年度はいよいよ創立120周年の年となりました。学校としても記念の年を盛り上げるため、昨年度から生徒たちの活躍を奨励してきました。同窓会のお力添えもあって、全国大会でもワンプロ部の団体・個人2連覇をはじめ、1丁簿記選手権3位、商業英語競技会でのスピーチ、レシテーション両部門3位、体育部門でも陸上部や

ソフトボール部のインターハイ出場など、これまで多くの成果を出すことができました。今年度は120周年の年として、さらに生徒諸君の活躍を奨励し、盛り上げていきたいと思っています。また、今年度の主要な学校行事には120周年記念という冠を付けて、盛大にアピールしていきたいと考えています。10月23日の記念式典は歴史と伝統ある熊商らしい式典にするため、職員・生徒一丸となって成功させたいと思っています。どうか今後とも熊本商業高校をよろしく願います。

熊商創立120周年を迎えるにあたって 伝統と未来への集い 職員・生徒一丸となって式典成功を 熊本県立熊本商業高校 校長 宮崎 功



今年度は熊商創立120周年という記念すべき年となります。私は熊商同窓会会長に就き早いもので1年が経ちます。この1年、120周年の記念事業と記念式典の準備を、同窓会役員と学年幹事の皆さんと試行錯誤しながら進めております。特に10月23日に行われる創立120周年記念式典に、た

くさんの方が出席していただけるような取り組みについてもいろいろ考えております。先輩たちが培った伝統と、若い後輩たちの未来への集いの場になればと考えております。最近行った120周年実行委員会では、全学年までとはいきませんが、若い学年の方の参加も目立ってくるようになりまし

た。老若男女関係なく集まり、情報交換や親睦を深められる場になればと思っております。また、未来の熊本、日本を支える在校生が学びやすい環境を同窓会として応援していきたい

と考えており、本年の創立120周年の記念事業として、熊商の在校生に対して学校からの要望でもあるバスを贈呈します。同窓会の事業および学校の行事を皆様にお知らせする目的で、Facebookを活用し同窓会のページを立ち上げました。まだまだ、始めたばかりで皆様に浸透はしていませんが、同窓会新聞では掲載できなかった内容や、熊商の行事などを掲載しております。同窓会活動をたくさんの方に知っていただき、参加できる会になるよう頑張っていきたいと思っております。

と考えると、本年の創立120周年の記念事業として、熊商の在校生に対して学校からの要望でもあるバスを贈呈します。同窓会の事業および学校の行事を皆様にお知らせする目的で、Facebookを活用し同窓会のページを立ち上げました。まだまだ、始めたばかりで皆様に浸透はしていませんが、同窓会新聞では掲載できなかった内容や、熊商の行事などを掲載しております。同窓会活動をたくさんの方に知っていただき、参加できる会になるよう頑張っていきたいと思っております。

在校生が学びやすい環境を応援したい
熊商同窓会会長 住永金司 (高校18年生)

熊商創立120周年記念・募金のお願い 今回は「大型スクールバス」を寄贈 同窓生の皆さんの温かいご支援を

1. 募金の目的及び方法

- ①目的 熊商大型スクールバス(45人乗り)寄贈に要する資金。
- ②方法 同窓会会員・篤志家・及び法人に募金趣意書を配布し、賛同者の方に寄付をお願いいたします。

2. 募金総額

2,000万円

3. 募金の種類

- ①個人(1口5,000円)
(出来れば複数口をお願いいたします)但し、金額に関わらずありがたく受けいたします。
- ②法人 1口分の金額は特に定めません。

4. 募金の振込方法

- ①学年幹事および個人での振込について
「クラス役員」がまとめてご入金をお願いいたします。個人のご入金もお受けいたします。

②現金持込

同窓会事務局でお預かりいたします。

- ③郵便振替(※会報に同封の寄付金専用振込用紙をお使い下さい)
会員コードで学年クラス別に集計ができます。

ゆうちょ銀行 寄付金振込口座
記号番号 01780-3-138223 加入者名 熊商同窓会

熊商同窓会事務局

〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目1-2
TEL・FAX 096-381-6979
E-mail: kumashodosokai@spice.ocn.ne.jp
Homepage: http://www.dashinc.co.jp/kumasyo_d

年会費 お一人 2,000円の納入も

同窓会は年会費で運営されています。本紙に振込用紙を同封しております。年会費は、お一人2,000円(1ヵ月167円程度になります。)

蛟竜館

3年前の話だが、東京から転勤してきた某会社の支社長は、お子さんを砂取小学校に転校させると共に、いつも電車通りを通勤。ある日、部下の女性リリーダに「砂取小学校の隣にある熊本商業高校はすごい学校だね。転勤であちこち回ってきたが、どこの高校もスポーツ大会の出場選手の名前を看板で掲出するところが多いが、この商業高校の看板はスポーツだけでなく、商業簿記やパソコンなど全国大会でもトップレベルの成績を上げていて実績がいくつも掲出されている。『校門一礼』の看板もいいね。他の進学校は名前だけには聞いているが、この商業高校はすごい学校だね」と話した。それを聞いた女性リリーダは「さすが『支社長、それは私の母校です。子どもも熊商卒業ですよ』と答えたなら『それで君も仕事がよくできるんだ』とほめられたそうだが熊商は今秋創立120周年を迎える。戦前戦後、私たちの大先輩は熊本県だけでなく、東京や大阪などの経済界で活躍しリーダーとなった。プロ野球の世界でも優れた選手を輩出した。そうした歴史が営々と築かれ、伝統は現在も引き継がれている。一例だが27回目となった『熊商デパート』も、多くの実業高校に大きな影響を与えるなど、後輩の皆さん達にも脈々と受け継がれている。『一昨年4月、熊商に赴任された宮崎校長は『日本一の商業高校を目指していく』と抱負を語った。それは夢でもなく努力を積み重ねていけば、日本一の商業高校を実現することができる。続く後輩や在校生にその夢を、いや目標到達を託したい。



▶創立120周年記念事業では「熊商学習センター・蛟竜館」を寄贈しました。



▶創立120周年記念事業では「熊商学習センター・蛟竜館」を寄贈しました。

熊商「写真で見る120年(抜粋)の歴史」



▲新町校舎



▲京町校舎



▲戦前、熊商には自動車部があった



▲昭和19年の春のスタンプ。このスタンプは、今も、あの時代の長崎県立へ出てきてくつのである。(4年生)



▲長かった戦争が終わった翌昭和21年の春、2年生の始業式



▲当時の正門



▲玄関前。そてつが懐しい



▲昭和37年3月 在職した先生たち

校訓碑
「礼節剛健」

▲昭和34年の国体に出場したサッカー部



▲昭和46年、軟式野球部が国体で全国優勝



▲第24回全国高校球技大会で、2年ぶり2回目の優勝



▲昭和25年に定時制がスタート。昭和29年3月第1回卒業式が行われた。



▲昭和57年3月31日、定時制が閉校となり、その記念碑が設置された。



▲平成7年に創立100周年を迎えた。記念の体育大会が開かれた。



▲創立100周年を迎えた当時の校舎と玄関前ロータリー。



▲耐震のために校舎が新築された。



▲平成26年、熊商は「日本一の商業高校へ」の教育スローガンを掲げた。

平成27年度
総会

熊商創立120周年記念事業の成功を

記念事業の取り組みや予算などを承認

平成27年度の熊商同窓会総会が4月17日、鶴屋ホールで開かれ、本科43回生(80歳代)から高校51回生(30歳代)までの同窓生、同窓会役員など114人が出席しました。

今総会は今年秋の創立120周年記念事業や祝賀会を成功させるために、同窓会への結束を固めるとともに、母校熊商を皆の底力で支えていく活動計画と予算を決めました。



▲同窓会を代表して挨拶する竹水副会長



▲総会議長を務めた下川幸一さん



▲議案を提案する毛利事務局長

総会は冒頭、住水会長が海外出張のため竹水副会長が「120周年記念事業の成功に向け、寄付などのご協力をお願いしたい。また、同窓会報も今年3月5日早めて5月中旬に、同窓生約2万5千人に郵送する。記念事業は3つの専門部会で議論し、

5投会で具体的な方針を決めていくので、皆さんの審議をお願いしたい」とあいさつしました。続いて(高)21回生の下川幸一さんを議長に選出した後、毛利事務局長が26年度の事業活動経過報告を、会計担当の宮本さんが一般会計と特別会計の報告

を、監査の松島さんが監査報告を行い、若干の質疑応答後、承認されました。続いて27年度の事業活動計画や一般会計と特別会計の予算案が提案され、大型バス贈呈について賛成を受けた後、承認されました(8面参照)。



▲乾杯のご発声。清田博さん

総会終了後、懇親会に移り出席した学校側を代表して宮崎校長があいさつ。そして本科51回生の清田さんのご発声で乾杯を行いました。出席した皆さんは

次に120周年記念事業の実行委員長を務める吉本さんが、総会での質問に答えることも含めて、これまでの経過報告と今後の取り組みを説明しました。今回は学校とも相談を重ねながら、学習や部活動のために大型スクールバス(45人乗り)が要請されたこと、体育館がこの春から9月まで補修工事により、校外の施設利用が必要となるため寄付金を集める前に、4月10日に前倒しで贈呈した経緯などが報告されました。

マスコット
キャラクター
誕生

熊商は昨年、マスコットキャラクターを生徒から募集し、今年卒業した元3年3組の福元さんの作品を採用しました。これは校歌2番にある「三年消む蛟竜の」の竜が地球という卵を割って活躍するモチーフで、愛称名は在校生から募集する予定です。

インタビュー

創立120周年記念事業 吉本実行委員長に聞く
みんなのパワーで成功させよう

10年後、20年後、未来につなげていきたい



▲創立120周年をアピールするのぼりが作られました。

Q 今年、熊商は創立120周年を迎えることから、同窓会では「記念実行委員会」が昨年スタートしましたが、その趣旨や目的は？
吉本 私たちは「礼節・剛健」の綱領と「桜と鐘」の校章の下、日夜各地でグローバルに挑戦し活躍されている多くの同窓生の皆様、今回の「伝統と未来への集い」に参集され、恩師や先輩後輩、同級生と共に熊商半世紀に及ぶ、同窓生としての誇りと伝統を、次の130周年につなぐ同窓会を目指しております。主役は皆様です。「むこう良かつたぞ」と言っていただけの大同窓会にしたいと思っております。

Q 実行委員会では成功に向けて各部が設置されましたね。
吉本 決定機関は正副会長、会計監査、名譽会長、顧問、相談役、常任幹事で構成しています。学校側との調整も行います。各部の取り組みは、徹底、同窓会報の企画と発行(2万5千部)熊日新聞への告知広告、広告企業主への依頼、DVDの作成と販売です。

Q 祝賀部会は、祝賀会に関する全般で、入場券(デザイン)や会費、校歌、販売計画(8000枚)祝賀会場との打ち合わせ(ホテル日航熊本)当日の人員配置や進行スケジュール、アトラクション、来賓名簿、配席図の掲示などです。

Q 記念事業部会は、記念事業

熊商同窓会
吉本國勝副会長同窓会活動の
さらなる発展を
目指します

Q 120周年を機に今後の同窓会に生かしていくことは？
吉本 3万9千人余のぼる同窓生の皆様がこれまで築いてこられた同窓会と、その活動を担っていた歴代の役員、各学年やクラスの世話人さんたちを中心に敬意と謝意を表します。熊商同窓会の伝統と歴史を次世代に引き継いでいきたいと思います。

Q 120周年を機に今後の同窓会に生かしていくことは？
吉本 3万9千人余のぼる同窓生の皆様がこれまで築いてこられた同窓会と、その活動を担っていた歴代の役員、各学年やクラスの世話人さんたちを中心に敬意と謝意を表します。熊商同窓会の伝統と歴史を次世代に引き継いでいきたいと思います。

伝統と未来への集い 熊商創立120周年記念祝賀会のご案内

日時

平成27年10月23日(金)

受付 午後5時30分

開会 午後6時30分

場所

ホテル日航熊本

5階「阿蘇の間」

会費

男女とも

8,000円

■お申し込みは
各学年幹事か
同窓会事務局へ東京
同窓会

新人5人が参加

昨年6月21日に品川プリンスホテルで開き62人が出席しました。今回は宮崎校長、住永同窓会会長、吉本副会長、関西から明珍事務局長が出席されました。

総会ではまず物故者への黙祷、渡邊会長と新副会長に選任された家入さんがあいさつ、続いて会計報告、監査報告、活動報告があり、これらを満場一致で承認しました。

懇親会は宮崎校長が熊商の動きを報告、住永会長が祝辞、吉本副会長の発声で乾杯しました。今回は新人5人が参加し、各テーブル対抗でドラえもんを題材にした発表会をおこなうなど、楽しい集いとなりました。

関西
同窓会

次回は今年8月29日開催予定

昨年10月26日太閤園で開き、86人が出席しました。熊本から宮崎校長、住永会長、鍋田・吉本副会長、関東から山下幹事長を始め県大阪事務所、他校同窓会も出席しました。

学校の現況や創立120周年記念行事などの報告を受けた後、総会は議案や役員改選を承認し、懇親会に移りましたが鍋田副会長の「バナナの叩き売り」の口上に拍手喝采。また「初代ミスター競輪」こと24年卒の山本清治先輩が紹介されました。そして長寿祝いやくじ引き、懇談などでアツという間に楽しい会になりました。平成27年度は8月29日開催予定です。若い皆さんのご参加を。(明珍)

福岡
同窓会元西鉄
ライオンズ
高倉照幸さんが講演

昨年10月25日、10回目の福岡同窓会(57人出席)をホテルセンテラで開きました。

富永会長のあいさつ後、宮崎校長が「本校生徒は文武両道で活躍している」とあいさつ。次に住永同窓会長と吉本副会長が、同窓会活動と創立120周年記念の取り組みを報告しました。総会の役員改選では新会長に大塚統一郎さん(昭33年卒)副会長に栗本勝さん(昭和38年卒)を選出し副会長2名体制を承認。

講演は西鉄ライオンズや巨人で活躍された高倉照幸さん(昭28年卒)が「我が野球人生」と題してお話を、また懇親会では歌謡ショーやカラオケで大いに盛り上がりしました。(福永)



熊商29年卒傘寿の祝 母校訪問 平成26年10月9日

高校
6年生

母校を訪問。傘寿を祝う

昨年10月9日、熊本交通センターホテルに74人が出席して学年同窓会を開きました。

午前中に関東や福岡などからの遠来者を交えた有志一行は、母校熊商を訪問し真新しい4階建校舎や、在校生の学習風景を見学。同窓会のシンボル「蛟竜館」では酒井副校長、垂水主幹教諭から「熊商の現況」について、丁寧な講話を聞き感銘を受けました。そして完成間もない校門で記念撮影をしました。

私たち29年卒は天草で古稀、鶴屋での喜寿、卒業60周年となる今回の傘寿(数え80歳)と、出席者は元気でお互いに歳祝いをおこない、校歌斉唱でいっそう盛り上がりしました。

高校
10年生

2年ぶりに開き128人が出席

昨年10月23日午後5時から、熊本交通センターホテルで、宮田先生と木下先生をお迎えして、2年ぶりの学年同窓会を開きました。

当日は、九州外からの遠来者を含め128人が出席し、盛大な会となりました。

会は物故者に対する黙祷から始まり、両先生からあいさつをいただきました。宮田先生は今年米寿を迎えられたとは思えない若々しくお元気で、全員が感動しました。

遠来者代表(写真)のあいさつ後、懇親会に移り、再会に各テーブルで旧交を温めました。次回は喜寿での再会を約束し、校歌を大合唱してお開きとしました。(幹事会)

高校
12年生

高校3年にタイムスリップ

「熊商35会」のキャッチフレーズは「オイ/元気会」です。私たち高12年生は昭和35年3月に卒業したことから35会と呼んでおり、2年に1回の開催としていましたが、皆72歳を越えたことから、最近では毎年開催して欲しいの声が多くなりました。

そこで平成26年11月11日にメルパルク熊本で開催、クラス幹事の努力もあり、85人の参加を得ました。遠くは新潟からの参加も…。

来賓として東 学先生にごあいさつをいただき、時が経つほど盛り上がり校歌、応援歌を歌う時は全員が高校3年生にタイムスリップ/再会を約束して散会しました。(高田)

高校
36年生

笑いの絶えない初の同窓会

今年1月3日にメルパルク熊本で卒業後30年の節目として初めての学年同窓会を開き、当時の先生方11人をお迎えし、総勢135人が出席し、笑いの絶えない会となりました。

30年経って先生方も高齢になれましたが、先生方の話を聞かずに私語を続けていた人に「静かにしろ!話をやめ!」と一喝され、皆いっせいに爆笑される一幕もありました。

先生方への記念品は熊商デパートで購入した品を贈呈、参加者には熊商のマグカップなどを景品とした抽選会を行い、当たった人は逸品を手喜んでいました。次回は数年後を予定していますので皆様ご参加を。(穴井智子)

高校
45年生

170人が参加、2次会に90人

今年1月3日、メルパルク熊本で平成4年度卒業の同級生と、クラス担任の恩師を含む約170人が出席(男40人、女130人)して学年同窓会を開きました。

物故者への黙祷の後、代表世話人(甲斐)あいさつ、吉田宏一先生の祝辞、秋野先生の乾杯の発声で懇親会に入りました。

22年ぶりの再会を皆が喜び終始お祭り騒ぎの雰囲気、なかには先生と間違えられる程変わっていた同級生も…。思い出話に夢中になった2時間半でした。江里口先生の音頭で万歳三唱、校歌を大合唱して幕。2次会も90人が参加して盛り上がりしました。(甲斐)

高校
61年生

卒業して6年、初の学年同窓会

今年1月4日、KKRホテル熊本で初めての学年同窓会を開きました。

私たち61年生は平成21年に卒業しましたので、まだ6年しか経っていませんが、卒業後はそれぞれで同窓会を開いておりました。そこで今回が初めて正式な学年同窓会の開催となりました。協力していただいた同級生各位に感謝しています。

3年生の時の恩師と92人の同級生が一堂に会し、仕事や結婚、子育てなど、お互いに近況を報告したり、まだ記憶に新しい高校時代の思い出話に花が咲き、楽しい時間を過ごし、再会を約束して終わりました。(本田遼平)

剣道部時代の楽しい思い出

(高)12回生 榎本 明(73歳)



私は昭和32年に入学し、35年3月に卒業した。

2年になり同じ組の大竹誠二君から誘われ剣道部に入部した。

当時は、なべ底景

気といわれ、就職活

動には困難な時代だっ

た。就職試験や面接時

に少しでも有利になる

よう、なにかのクラブ

活動に所属して置くこ

とが得策でもあった。

3年の先輩達は有段

者が多く、練習には厳

しく熱心であったし、

1年の後輩達も初段者

が2人くらいいて、真

練習の厳しさ



▲昭和35年、3年生のときの剣道部。(後列左から3番目が私)

人生は生まれてきた時代に左右される

(本科)51回生 堀 裕(85歳)



大佐、予備役の深水中尉、畑田少尉と配属将校の日が光っており、厳しかった教練の時間を思い出します。

一、軍人は忠節を尽くすを本分とすべし、有名な軍人勅諭や、「生きて虜囚の辱めを受けず」と命じた戦陣訓等を暗記すること、天皇陛下の軍人であるべき心得を学んだものです。

或る一日はこの38式歩兵銃を肩に一週四百米の校庭の早駆け、また完全武装での行進に教官の射る様な厳しい目が注がれます。

この38式歩兵銃はかなりの重さで3kg以上もあり、緊張の余りこの銃を前に倒したことがありました。走り寄った教官に、目から火の出る様な注目を浴びたを食らった記憶があります。

「恐れ多くもこの銃に菊の御紋がつけられているのが貴族はわか

は従来通りであったが、新たに

全員防具を着け竹刀を手に、健

軍神社までの八丁馬場桜並木の

下や、画図湖周辺を走ることを

始めた。

主将の税所君の住居が画図湖

の横にあったことから、練習後

3年の仲間と税所君宅の庭先に

思い出として残った。

中日ドラゴンズ 江藤慎一先輩にインタビュー

(高)14回生 福田栄一(71歳)



昭和34年、私は熊商に入学し、3年間新聞部で「熊商新聞」の発行に携わって来ました。

部活を通しての一番の思い出は、昭和34年12月に突然本校に

来校された、プロ野球中日ドラゴンズの江藤慎一先輩にインタ

ビューをさせていただいたこと

です。

「あ、あの時の教官の厳し

な顔と、往復びんたの痛さ！

敗戦後の内地や南方方面の

ニュースで武装解除された兵

隊が、この銃を投げ捨てて両手

を上げて投降する姿を見る時、

この忘れ得ぬびんたを思い

出すのです。昭和19年6月20

日、学徒動員で三善長崎造船

所に動員され、あの恐怖の原

爆に遭遇、爆心地から4kmで

命は助かる。造船所は操業停

止状態に陥り、工場再開まで

焼け爛れた長崎から一歩帰省

となり、被爆者を乗せた救援

列車で熊本に帰って来ました。

▲原爆が投下された後、同級生らと蒲州。

苦勞を共にした故、西村武典君(写真左)ら

牛深出身者は野宿しながら故郷へ帰った。

(注、西村さんは後に牛深市長を8期務めた)

思い出を語る

3年を迎え、そこで80歳代から20歳代までの同窓生12人の方に、在学中の思い出を語っていただきました。



▲昭和34年12月2日、先輩の江藤慎一さんにインタビューしました。(江藤さんの左隣が私です)

野球部のマネージャーで多くを経験

(高)22回生 明珍しず江(旧姓上田)(63歳)



卒業して早45年、昭和42年春

高校生活を夢見て入学、45年春

友との別れを惜しみながら思い

出の校舎を後にしました。あつ

という間の3年、その中でも級

友やクラブ活動は未だにその関

係が保たれています。1年生の

マネージャーの誘いを受け、何

も知らずに飛び込んだのが硬式

野球部。毎日スコアブックを片

手にグラウンドに通い、少しづ

つルールも覚えしました。最初の

頃はチョココンとベンチに居た大

人しい「存在だった」と自負し

ていますが、彼らにはどう映っ

ていたのでしょうか。先輩との

キャッチボール、暑さ寒さの中

熊商時代に取得した資格が今役立っている

(高)49回生 原口真子(旧姓七谷)(36歳)



私は、平成6年から平成8年まで在学し、平成7年には創立100周年という記念すべき式典にも在校生として出席しました。

この執筆依頼を受け、当時を思い出してみると修学旅行やクラスマッチ、熊商デパートと様々な行事がありましたが、それより先に頭に浮かんだのが「検定試験」に追われる毎日のことでした。

主催者、種目、級数が違うなど、数々の試験を時期によっては休日

にも登校しながら、毎週のように受け、友人とうんざりしていました。

しかし、その気持ちとは裏腹に、卒業時にはたくさんの資格を取得しました。全商3種目1級の表彰も受け、就職面接の際には必ずお褒めの言葉をいただきました。

特に、今では当たり前となったEXCEL技術も、当時は走りであったため、それを使った「コンピューター利用技術検定」の内容をよく聞かれたものです。

今は、縁あって「日本料理はらぐち」という料理店に縁が、若女将として慣れない仕事に奮闘しています。

お客様へのおもてなしを学ぶ一方で、財務諸表や帳簿にも向き合う日々です。

その中で抵抗なくパソコンや数字と仲良く出来るのは、高校3年間のたまものだと感じています。



▲体育祭で級友と。右が私です。

情報処理科で学んだことが今でも

(高)27回生 水口 浩(旧姓中島)(58歳)



昭和47年入学、情報処理科1

期生です。入学時の印象は「女

子ばかり」。当時1クラス5

00人程、男子100人、女子

400人の比率。情報処理科

は、男子30人、女子17人で、3年



▲級友と一緒に(右側が私です)

まず、公式戦では本部席でスコアブックの記入や、うぐいす嬢も経験しました。OB会で顔見知りになった先輩、そして今でも折に触れ声を掛けてくれる後輩や、当時の監督の福岡先生、皆様と出会えて今があります。

先だってマスターズ甲子園でOBのプレーを見、校歌が甲子園に流れた時は感無量でした。

また、帰省の度にミニクラス会を計画してくれるわが友、そ

いてこのにも感謝しております。

して熊商で過ごした3年間に感謝し、現在、関西熊商同窓会の事務局長として、学校や関西での熊本県人会との関わりが出来て

いることに感謝しております。

卒業アルバムに悦ちゃん(旧姓中島)が記載した「システムの思考」は、

日常業務でも実践しています。

(40年前に良きこの言葉を書け

たと感心・感謝しています。)



▲情報処理科1期生です。(右から3番目が私)

熊商第二応援歌を作りました

(高)5回生 池部敬三郎(旧姓緒方)(80歳)



私は昭和25年から28年の在籍です。当時住所毎に普通高の進学先が決まる学区制がありましたが、その適用のない熊商を選んだおかげで、全県下出身の多くの友を得ることが出来ました。夏冬の休暇には日頃、寄宿舎や下宿生活をしていた友人達から実家に招待され、大歓迎を受けました。

なかに村長さんが一高生を少年を駅頭まで迎えに来られたこともありました。2年生の夏、生徒会長に選ばれました。その際、当時少数で希少感のあった女生徒の一人を会長職権を利用して書記

に任命しました。しかし解任規定も、依願退職もいまま現在に至り、生涯の伴侶になっていきます。但し、いつしか立場が逆転しているようです。

3年のとき、母方の姓を継ぎ、緒方から池部に改姓しました。ありがたいことに、このことを放送部が校内放送で全教室に流しました。3年生の夏、戦前の済々・熊商野球定期戦を復活することになりそれを機会に、私が第二応援歌「噴煙たなびく」を大童信義先生の助言をいただきつつ作詞、作曲しました。その折、先生方のあだ名を読み込んだ「名物教師の数え唄」を作り、夏休み中の黒板に書き残したところ、またたく間に広まり、秋の体育祭で各団



▲山本先生(中央)、大童信義先生(右)と私(左) 昭和27年1月撮影

異分子的存在だった熊商時代の私

(高)18回生 出良秀雄(67歳)



何も取りたてて私を目立たせる様な、さもない根性で見出しをつけたのではない。私は熊商の持つ伝統的な校風の中で、はみ出した存在だったと、今顧みて思わざるを得ない。大体私は、「熊商の卒業生でござい」と、一人前に胸を張る資格はまった

くない。第一に、私はお情けで、同期の熊商生より半年遅れて卒業した身分。第二に、熊商生でありながら、商業に関する資格など何一つ取得していないこ



▲肩に力が入りすぎているぞ、と声をかけられた。

と。第三に、いつ学校から退学処分を受けてもおかしくない程の処分歴があったことなどなど。しかしながら、私は級友達から疎外され、私自身も居心地が悪くて拗ねていたかといえはそれはまったく違う。



青春時代の大半を熊商で過ごした時間と空間は、何事にもかえ難いことと有ったと思う。

3年間、自由ののびのびと貴重な青春時代を送れたことに、深見正夫校長、担任の西住史郎

私は昭和53年から56年まで在学中のことで一番記憶に残っていることと言えば、英語教諭の広木先生です。

英語は苦手だったので、授業も楽しいと思えたことはそれまでなかったのですが、先生は授業の時、問題を出したり、問題の答えにつまんだ時など、「シン

苦手な英語、でも楽しかった授業

(高)33回生 衛藤早苗(旧姓松本)(52歳)



▲クラスメートと一緒に(後列左から2番目が私です)

卒業して30年以上経っても、先生の面影と「シンシンフォン」は、生涯記憶の中に残っていることだと思えます。私は小中学校時代に珠算をすることがなかったため、熊商に入塾してから習いましたが面白かったですね。でも暗算が苦手だったので2級までしか取得し

熊商 創立 120年

熊商は今秋、創立120年を迎えます。長い歴史の歩み、人たちが卒業していき

一番の思い出は「熊商デパート」

(高)45回生 甲斐良二(40歳)



数ある高校の中から熊商を選び甲佐中学から進学した私は、平成2年から平成4年まで3年間在学しました。

バス通学をしていた私は3年間、毎日バスに揺られて熊商に通いました。当時の通知表を見てみると恥ずかしながら赤点ラッシュ。簿記に関しては一桁台も。ただ無欠席と記してあり、毎朝弁当を作ってくれた母には報いることが出来たのかと。

部活は軟式野球部に所属し主将を務めました。硬式野球とは違い少人数の軟式野球部。サッカークラブのグラウンドの片隅での練習の日々に、練習以外で辛い目に遭うこともしばしば。顧問の恩師津々浦先生の下、厳しくも楽しい部活動を送ることが出来ました。熊商で学んだ簿記やソロバンなどは、現在、自営業

熊商デパートで学んだことを生かしています

(高)61回生 本田 遼平(23歳)



私は平成18年から21年まで在学しました。学生生活で思い出に残っていることといえば、普段の生活もそうですが、部活・熊商デパートが特に印象に残っています。部活動生だったので一番の思い出は部活動生活ですが、皆さんにも分かるように、ここでは熊商デパートの思い出を書かせていただきます。

熊商デパートは入学前より知っていたのでとても楽しみにしてい

ました。1年生の時は経理の銀行係、2年生の時は電算、3年の時は販売をさせてもらいました。2年間は販売にたずさわることなく終わりましたが、裏方の仕事をたくさん学ばせていただきました。特に1年生の時は銀行係だったこともあり、体育館のステージ上から熊商生の接客の仕方・あいさつなど、たくさん見ることが出来、その経験を生かされたらと思う3年時には販売をさせてもらいました。

その成果かは分かりませんが、3年の時はたくさんの品々を販売することが出来、改めて接客や言葉遣いの大切さを覚えました。

そして今、その接客を主とする仕事についています。学生生活で過ごしている何気ない日々も、必ず社会で生かせる時がきますので、在学中の皆さん、何事にも一生懸命に取り組んでもらいたいと思います。



▲卒業式の日にクラスメートと(一番右が私)

3年間サッカー部で汗を流す

(高)51回生 徳永泰隆(34歳)



私は平成8年から平成11年まで在学し、3年間、サッカー部に所属していました。

高校生活の中で一番記憶に残っていることといえば、2年生の時に高校総体県大会で優勝し、

を営む私にとって大変なになり、日々在学中の勉強不足を嘆くばかり。

一番の思い出はやはり「熊商デパート」です。男子特有の駐車場の整理から始まり、3年時には仕入部長も経験しました。「学ぶふれあい地域と友に」の名のもとに、今も続く熊商デパートに毎年出向き、在学生に元気をもらっています。



▲親友と一緒に(右側が私です)

今年創立120周年を迎える母校のさらなる発展と飛躍を心から願い、熊商健児の名に恥じぬよう、日々精進していく所存であります。

結局、一度も公式戦に出ることなく過ごした3年間でしたが、苦楽を共にした仲間や先輩たちのおかげで、たくさんのいい思い出ができました。在学中は勉強をあまりしませんでした。3年間サッカーを続けたということが、今も私にとっての誇りです。



▲サッカー部の仲間と共に(左から2人目が私です)

10周年
第10回総会新代表に林みどりさん(高校35回生)
高鍋京子さん(19回生)のコンサート開く

台風接近のため延期しました「さくら会」の第10回総会を昨年11月16日、熊本市健康文化ホールで開き男性同窓生も含め女性会員ら約80人が出席しました。

「さくら会」は、1994年に発足し、1999年(平成11)12月4日に530人の出席を得て正式に設立総会を開きました。これは熊商の女性が増えたことから、同窓会の女性部として発足したもので、以来10年間、女性の同窓生を中心に総



▲総会で選ばれ承認された新役員の方々



▲素晴らしい歌声で参加者を魅了した高鍋京子さん



▲高校19回生の女性の皆さんが花束を贈呈



▲出席した東寶(前列)と「さくら会」の会員の皆さん

会と講演会、ケーキや和菓子の賞味会、童謡など、多彩な企画で活動が続けてきました。今総会では松永玲子代表(高31回生)が主催者あいさつをした後、同窓会の竹永副会長が、平成27年に熊商創立120周年を迎えるので吉本実行委員長を中心として準備を進めている。女性の同窓生の皆さんも積極的にご参加いただきたいと述べました。

宮崎校長先生は「熊商は済々僉に次いで県内で2番目に古い学校。現在は女生徒が3分の2を占めているが、文化・スポーツの分野で活躍している」と現況を報告しました。

来賓紹介の後、松永会長が1年間の活動報告を述べながら、「熊商卒業生の男女比は3対7となっている。いずれは女性が同窓会の中心となり活動しなければならぬ」と述べました。活動報告や会計報告が承認された後、役員改選では松永代表の退任に伴い新代表に林みどり

私の野球人生

戦後すぐの春の選抜に出場

高校第1回卒業 原田孝一

熊商に入学して2カ月経った頃からチームも勝ち試合が多くなり、他校からも注目されるようになってきました。

当時の九州では、済々僉がずば抜けた強さを誇っていました。そんな中、秋には熊商も互角に戦えるようになり期待が持てるまでに前進。春の選抜野球の出場校が1月末に発表され、昭和22年(1947)春の選抜に済々僉、熊商、小倉中学の3校が九州代表として選ばれました。熊商野球部に入部してわずか半年

で甲子園出場が決まったことは幸いでした。

当時の交通の便は悪く、甲子園までの道のりは大変なものでした。国鉄は各駅停車しかなく、済々僉と仲良く豊肥線で別府に行き、関西汽船で神戸に向かいました。途中の瀬戸内海は爆撃を受けた日本船の煙突だけがあちこちに浮いて、なかなか船が進まず10数時間かけてやっと神戸に着きました。空襲で神戸の六甲山の山々が茶色に焦がれていたのを今でも思い出します。

また、食糧事情も最悪で米、味噌持参です。着いた宿はといえば、高野連の指示で大阪・心斎橋近くのバラックの建物。天井と部屋は板で仕切っただけ。とてもゆつくり休む所ではありませんでした。幸い先輩の計らいで部屋に宿泊することになり、先輩のありがたさに感謝しました。

1回戦は広島商業と対戦、5対2で勝利を収めました。球場の広さに圧倒されたがマウンドに立つと、捕手までが遠く

に感じられ、気持ちのたかぶりも治まらないままでした。

試合が終わると地に足が着いた感じがした。そして2回戦は徳島商業に敗れました。

この年の夏、甲子園出場を目指して猛練習を重ねていた私でしたが、熊本高野連から出場停止処分を受けた。その理由

はなんと私が熊商に入学してから1年も経っていないから、というもの。甲子園出場の夢は閉ざされ、関係者の方々も私も非常に残念な思いでいっぱいでした。

熊商時代の野球の実績が認められ、阪急ブレーブス(当時)の投手としてスカウトされてプロ野球の世界に入りました。

熊商時代の野球の実績が認められ、阪急ブレーブス(当時)の投手としてスカウトされてプロ野球の世界に入りました。

熊商時代の野球の実績が認められ、阪急ブレーブス(当時)の投手としてスカウトされてプロ野球の世界に入りました。

熊商時代の野球の実績が認められ、阪急ブレーブス(当時)の投手としてスカウトされてプロ野球の世界に入りました。

熊商時代の野球の実績が認められ、阪急ブレーブス(当時)の投手としてスカウトされてプロ野球の世界に入りました。

熊商時代の野球の実績が認められ、阪急ブレーブス(当時)の投手としてスカウトされてプロ野球の世界に入りました。

ワイプロ全国大会で熊商が優勝

同窓会から祝い金を贈呈

近年、熊商の在校生の活躍が内外から注目されています。昨年は「ワイプロ全国大会」で熊商が優勝するという快挙を上げました。

同窓会では昨年10月16日、住永会長、竹永・吉本副会長が学校を訪れて、宮崎校長に祝い金を贈り、在校生の快挙を讃えました。



▲ワイプロ全国大会で熊商が優勝

私にとっての熊商バスケット部OB・OG会

(高)43回生
村上好美(42歳)

私が初めてこの会に参加したのは、10年前だったと思う。卒業後もバスケットに携わり、自由のきかない生活を送っていたので、初参加にはずいぶん時間がかかった。毎年開催されていることは知っていたが、気にはなっていたので、余裕が出来た年には参加

加をすぐに決めた。とはいえ、さすがに初参加の時は同級生や歳の近い先輩・後輩とかなり連絡を取り合ったことを覚えている。初参加当日、ドキドキで会場入りしまずビックリしたこと

は、私の父親くらいの方々がたくさんいたこと。私達の頃には、男子バスケット部の活動がなかったのもあり、とても不思議な感じがした。こんな気持ちに陥ったのは、私が進むにつれいろいろと話は弾んだ。熊商は男子バスケット部から始まってとても強豪だったことを知り、この部の長い歴史を感じ改めて凄いなと思った。この



▲バスケット部OB・OG会(筆者は後列左から3番目)

熊日夕刊でマンション問題について執筆連載

熊本県マンション管理組合連合会会長を務める
平江澄雄さん(高14回卒)



昨年8月17日付の熊本日日新聞は、1面トップに「熊本市マンション老朽化懸念」という見出しで、分譲マンションが登場して40年、熊本市でも20年後に

は40年を超える建物全体の50%弱になる見込みから、特集記事を組みました。

そこで熊本県マンション管理組合連合会の会長を務める平江澄雄さん(高14回生)にインタビューしてコメントを掲載し、さらに同年10月1日から12月10日まで13回にわたり、熊日新聞夕刊「きょうの発言」でマンションが抱えるいろいろな問題について執筆しました。

平江さんは熊商卒業後、転勤族のサラリーマンで全国を転々とした後、熊本に戻り市内中央区にマンションを購入し新しい生活を始めました。ひょんなことからマンション管理組合の理事となり、人柄や識見、行動力が評価され、8年前から県マンション管理組合連合会長として活躍しています。

元張3
同窓生

多くの問題や入居者の悩みなどを取り上げた熊日夕刊きょうの発言のコーナーは同窓会事務局にありますので、ご希望の方は事務局にお申し込みください。

■平江さんは、マンション居住に関する問題について相談に応じています。お気軽にお電話を。(掲載)090・5293・5622

新任教職員の紹介

120周年を機にさらに活躍を 副校長 本山 幸広



平成24～25年度の2年間、伝統ある熊商に勤務し、今年度から再度、皆様にお世話になることになりました。特に今年度は創立120周年の年であり、大きな節目の年に勤務できることを大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。また、母校を愛し

尽力いただいております同窓会の皆様に、心から感謝申し上げます。本校は、商業の専門教育の深化や、地域社会の発展に貢献する人材や、国際的に活躍する人材育成が重要になってきていますので、大きな節目を機に、生徒たちが文武両道に渡り、県内はもとより全国的に活躍するよう、素晴らしい先生方と一致団結して微力ですが努力を重ねて参ります。

いざ、母校へ帰る



24年前に熊商を卒業し、教師になり20年の時を経て、新たな気持ちで熊本県の商業教育の中核に挑まなければならない責任感を感じております。

在学中は野球部で甲子園を目指し、一心不乱に毎日毎日白球を追っていました。辛かったこと、

高校43回卒 太田 吉彦

苦しかったこと、楽しかったことなど、ここで学んだことがこれまでの人生の大きな支えであり誇りです。生徒たちにも、信念をもって、未来を信じて、夢を掲げてほしいと伝えていきたいです。これからは経験したことのない新しい出逢いや発見が、私の活力になると想っています。レベルの高い商業教育の実践を通して、飛躍できるよう努力していきます。

大切な時間を皆さんと共に 高校61回卒 工藤 由真



熊商で過ごした3年間は、私にとって大きな転機であり、かけがえのない時間でした。

これから皆さんの人生でとても大切な時間を共に過ごすことができることを大変嬉しく思います。

母校で勤務させていただくにあたり、熊商で学んだことはもちろ

んですが、中国語を通して、私のこれまでの経験や知識を共有していきたいと思っております。私は「桜に鑑」の校章がとても好きです。皆さんには日本に誇りを持ち、世界に目を向けて、いろんな場面で活躍できる人になっていただきたいです。私も精いっぱい取り組みます。よろしくお願いします。



▲贈呈式で宮崎校長にキーを贈る住永同窓会長。左は生徒会の桐原航平会長。



▲学校、育友会、生徒会、同窓会の各代表の皆さん

同窓会から大型スクールバス

(4月10日に贈呈式)

熊商創立120周年を記念して、同窓会は大型のスクールバスを母校に贈呈しました。

4月10日に行われた「贈呈式」では、住永同窓会長が「生徒さんたちの授業の一環として活用してください」とあいさつ、宮崎校長が「45人乗りなので助かります。車体のデザインも洗練されています。120周年を機にマスコットキャラクターも作りしましたので、生徒たちから愛称を募集します。大事にバスを使い学校の活性化につなげます」とあいさつ。

車のキーが渡された後、生徒会長の桐原航平さんと、育友会の森美香会長がお礼を述べました。そしてプラスバンド部の演奏で皆で熊商校歌を合唱して閉会しました。

また、在学中に特に頑張った2人の生徒に同窓会から記念品が贈られました。親子3世代で熊商を卒業して同窓生となった方が表彰されました。終わりに各クラスの幹事が紹介され、同窓会の一員に加わりました。



▲入会生が「誓いの言葉」を述べる

第34回全国高等学校空手道選抜大会は、3回戦まで勝ち上がりベスト8を目指しましたが、残念ながらベスト16で大会を終了。しかし、2年生6人中、5人が高校入学後に空手を始めた生徒で、全国大会の切符を手に入れています。また、熊本・九州という組手レベルの高い地域からエントリーするだけでも大変なことですから、今大会の結果は評価されます。

今後は県総体優勝とインターハイ出場を目指して、部員全員が精進を重ねています。

頑張る空手道部



▲今年の高校総体で活躍が期待される空手道部の皆さん



▲写真はJR九州エージェンシー提供

JR九州は新幹線や特急列車の車内でPR誌「Please」を配布していますが、今春3月号に「水前寺に恋して」という表題で、水前寺一帯の活性化を取り組む地元のプロジェクトチ

JR九州のPR誌に熊商生登場

勝、嶋田梨那さんが4位に入賞しました。速度の部では追われる立場でしたが見事な成績で優勝。技能の部では九州大会で過去最高の団体2位に入賞するなど、日頃の練習、努力によって大きな舞台で結果を出しました。



▲昨年に続いて2連覇を果たしたワープロ全国大会

昨年6月5日、高千穂大学(東京)で行われた第61回全国高校ワープロ競技大会で、熊商ワープロ部が昨年に続いて団体で優勝し、2連覇を果たしました。また、個人の部では小出美貴さんが優勝、塚本優さんが準優勝。

在校生の皆さんへ

在学中は勉学や文化・スポーツ活動に汗を流すと共に、多くの友だちをつくってください。10年後、20～30年後にぜひ同窓会を開いてください。とても楽しいですよ!

ームを取り上げましたが、その取材の最中に、参道で熊商生が水前寺堂を使ったお菓子を販売していた様子も写真入りで紹介されました。この熊商生は熊商の「ビジネス研究同好会」のメンバーでした。そういえば、4年前にも熊商生が、水前寺公園周辺の案内図を作った新聞で紹介されました。



▲早い人は開店1時間前から。30分前には長蛇の列ができる。入場する皆さんたち。



▲校長、同窓会長、育友会長、生徒会長などの皆さんによるテープカット



▲デパート開店前の準備で忙しい皆さん



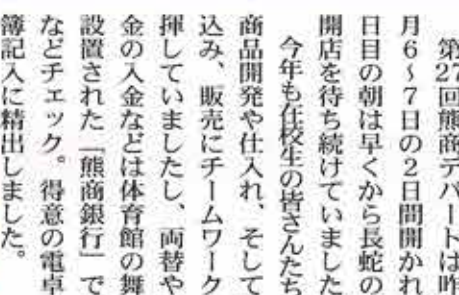
▲熊商オリジナルウェアを手に持って声をかける生徒さんたち



▲市内のデパートにも負けないさわやかな声でお客様に商品をアピール



▲商品名を書いた紙も高い所にあり、とても見やすい。これも老舗のチエ。



▲値段も手頃なので、生徒自身も買いたいとか...

第27回熊商デパート大盛況

第27回熊商デパートは昨年12月6～7日の2日間開かれ、1日目の朝は早くから長蛇の列が開店を待ち続けていました。今年も在校生の皆さんたちが、商品開発や仕入れ、そして呼び込み、販売にチームワークを発揮していましたし、両替や売上金の入金などは体育館の舞台に設置された「熊商銀行」で計算などチェック。得意の電卓と帳簿記入に精出しました。

